

## 奈良市議会議員

### 一般質問・代表質問 質問回数

(2013年9月～2017年3月までの計15議会 議席番号順)

15回：酒井孝江、横井雄一

12回：階戸幸一、植村佳史

11回：白川健太郎、鍵田美智子

10回：山本直子、宮池明、伊藤剛、北村拓哉、  
森岡弘之、井上昌弘

9回：太田晃司、九里雄二、藤田幸代、  
山本憲宥、内藤智司

8回：道端孝治、小川正一、高杉美根子

7回：八尾俊宏、柿本元気、松石聖一、松岡克彦

6回：山口誠、山口裕司

5回：松村和夫、三浦教次、山中益敏

4回：東久保耕也、北良晃

3回：松下幸治、今西正延、中西吉日出、松田未作

2回：森田一成

1回：浅川仁

0回：土田敏朗、上原雋

## 奈良市議会での役職

厚生委員会副委員長、厚生消防委員会委員、  
観光文教水道委員会委員、広報広聴委員会委員、  
総合計画検討特別委員会委員、基本計画検討特別  
委員会委員、予算特別委員会委員、決算特別委員  
会委員等を勤めました。

## 酒井たかえを推薦します

浅野 正雄(元・調停委員)  
生駒 晴代(奈良町飲食店「あしゅーら」店主)  
稲垣 秀樹(元・天理高校教諭)  
浦上 文男(元・裁判官、現・弁護士)  
大谷 幹生(元・調停委員)  
奥本 英子(元・大和高田市議会議員)  
桑原 洋子(法学博士、龍谷大名誉教授)  
酒井 敦子(妹。弁護士)  
繁田 智子(元・生駒郡平群町議会議員)  
島田 幸子(御所市議会議員)  
杉原 基代(主婦)  
大門 晶子(大阪府河南町議会議員)  
豊田 和子(学園緑ヶ丘2丁目自治会長)  
寺田 アサ(青和こども園園歌作曲者)  
西田 泰之助(シニア野球選手。富雄北)  
原田 寛太(学園緑ヶ丘)  
深江 誠子(元・平安女学院大学教授)  
藤原 友子(百楽園)  
古川 充伸(元・上宮高校教諭)  
森屋 裕子(元「女性を議会へ!バックアップスクール」呼びかけ人)  
矢野 公子(従妹。帝塚山大卒)  
山下美由紀(旧姓・生津。樟蔭東高同級生)  
山本 幸雄(司法書士)  
吉田 永宏(関西大学名誉教授、日本近代文学史)  
吉田ようこ(「女性と政治をつなぐ会・奈良」代表)

(五十音順)

子どもの命が  
まもられる街に  
憲法の精神を生かす  
奈良づくり



無所属 市民派 憲法9条 脱原発

奈良市議会議員

## 酒井たかえとともに女性と政治を考える会

酒井たかえ事務所

奈良市学園緑ヶ丘2-8-15 〒631-0026(自宅)

電話・FAX 0742-44-9196

sakai\_takae2008@yahoo.co.jp

https://twitter.com/sakai\_takae

http://www1.kcn.ne.jp/~takae-sa

昨年11月5日、  
「(公財)市川房江記  
念会女性と政治セン  
ター」主催「女性参  
政70周年記念事業  
in 関西」事業の分  
科会でパネラーを務  
めました。

(写真中央が酒井。大  
阪ドーンセンターで)



皆さまの暖かいご支援をいただき、奈良市議選で2期目の当選を果たし、早4年となります。

昨年は、新火葬場「新斎苑」問題が、議会を二分する大きな課題となりました。

## ■「しんさいえん新斎苑(新・火葬場)」問題

古い火葬場(白毫寺町)はすでに100年が経過し、少子高齢化で「多死時代」に突入、火葬を待機させられる市民が続出しており、他市で火葬してもらおうと何倍もの費用を取られ、市民が本当に困っています。新斎苑建設費に充てる合併特例債22億円を国からもらうには、昨年の12月議会で予算を可決しないと間に合わない状態でした。

さて、昨年3月の奈良市議会では、奈良市初の「再議」がありました。

これは3月25日に、市が提案する「新斎苑」建設予定地(横井町の山林)に、反対している「自民党」(8人)と「奈良未来の会」(「議長選事件」で大阪地検特捜部に家宅搜索された元「政翔会」。前「奈良維新の会」)(8人)が、「一般会計予算」案から新斎苑等の予算案を削る「修正案」を提出。「共産党」(7人)、無所属の柿本議員・松石議員も賛成して可決されたため、仲川市長は「新斎苑事業の遅れが市民生活に多大な影響を与える(ので)(略)再議に付したい」(奈良市議会会議録より)と、再度、審議することを求めました。

酒井は当初から予定地での「新斎苑」建設に賛成していました。他に賛成派は「公明党」6人、「改革新政会」(民進党系)5人、無所属の上原議員(元議長)という少数で、とても新斎苑予算案を可決できる状況にありませんでした。

反対派議員の多くは「地元が反対しているから」「予定地は危険」等と主張していましたが、仲川市長に大きな成果を上げさせず、今年7月の市長選・市議選のダブル選挙で、仲川市長が再選するのを阻止する目的だ、と言う市民もおられました。

賛成派の松村議員(改革新政会)は「政争の具に供してはならない」(会議録:平成28年12月9日市民環境委員会)と議場で指摘されました。

3月30日、採決の直前、酒井は「修正案」についての反対

討論を行いました。「今の候補地は、橋で渡った山の中で、半径250メートルに建物が無いというのも素晴らしい」「反対しておられる方々のチラシには、奈良市の北西部エリアに火葬場を建設するべきではと指摘されているが」当の北西部の市民は全く知らない状況」「財政難の奈良市にとって本当にありがたい合併特例債です。これがむずむず使えなくなったりしたら、市民に対して申しわけが立たず、今まで結論を出さないできた議員の責任でもある」「今の状況を詳細に全市民に知らせれば、多くの市民が仲川市長を支持する」等と訴えました。

「再議」では議会の3分の2の賛成が必要で、25日に可決された「修正案」を、今度は否決できるはずでした。しかし、ここで修正案を否決すると、奈良市の予算は暫定予算となり、市民生活に影響が出ます。そのため、上原議員が意思に反して賛成され、修正案は再び可決されたのでした。

議会の閉会后、複数の「新斎苑」賛成派議員らが代わる代わる酒井の控室に来られ、討論での酒井の発言に対して「多くの賛成派議員の気持ちを代弁してくれた」等とお礼を言われました。「新斎苑」予定地を賛成派議員がはっきりと評価したのは、これが初めてだったからでしょう。採決では負けましたが、これで潮目が変わりました。

その2ヶ月後の5月20日、議会報告会直後、10名ほどの反対派住民や議員から酒井は取り囲まれ、25分間、怒鳴られる等の圧力を受けました。3月議会での討論に対するの圧力のようでした。

酒井はこのことをツイッターに書きました。すると「頑張れ」「暴力に負けるな」等、ツイッターの方々からのお声をいただきました。これをリツイートすると、ツイッターでも攻撃してきていた反対派が、攻撃してこなくなりました。

その間も、仲川市長は懸命に「新斎苑」予定地の地元を説得して歩いて回られ、徐々に賛成される地元の方々が増えています。

市側は京都大学の専門の教授3名に予定地の調査を再度依頼。提出いただいた「安全」の回答を、奈良市自治連合会主催「奈良市新斎苑建設にかかる市民集会」(2016年11月26日市役所正庁)で発表されました。

そして12月議会最終日(平成28年12月16日)、採決で「共産党」が賛成に回られ、ついに「新斎苑」関連予算が可決しまし

た。酒井も怖い思いをしましたが、新斎苑に道筋を付けることができ、ほっとしました。

## ■奈良少年刑務所がホテルに

酒井は「奈良少年刑務所を宝に思う会」結成時(2014年10月18日)から市民の皆様と、美しい建物と歴史の保護を求めてきました。このたびホテルや史料館に生まれ変わることに。地元との意見交換会では法務省の方々が「こんなに地元で愛されている刑務所は初めて見た」と言われました。感動しました。

## ■「子どもの貧困」対策

この間、酒井は議会活動を頑張ってきました。特に力を入れたのは「子どもの貧困」対策です。

奈良市の貧困世帯16%のうち43%が一人親世帯で、その大多数を占める母子家庭の年間就労収入は平均192万円。離婚等で別れた父親からの養育費は、定期的に支払われているのは15%です。

先進各国では、国や自治体が強制的に父親から取り立て、養育費はほぼ100%払われています。しかし安倍政権はこの問題に消極的です。

母子家庭の子どもの多くは、貧困のため塾にも通えず進学をあきらめています。また、子どもが生別した父親との面会交流は「会っていない」が半数以上です。別居親と会えないと、子どもは「自分は別居親に捨てられた」と感じ、自己肯定感が保てず不登校に陥る等が問題になっています。

酒井は議会で取り上げ(「酒井が実現したこと(その3)」参照)、離婚時に養育費と面会交流についてあらかじめ取り決める「合意書・養育費プラン作成の手引き」が完成、離婚届を取りに来られた方等へ配布が始まりました。

酒井は3期目を目指し、益々頑張ります。ぜひ「酒井たかえとともに女性と政治を考える会」へご入会いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年 春 酒井孝江

# 酒井が実現したこと (その1)

## 1. 学童保育(バンビーホーム)の午後7時までの時間延長を実現!

酒井は厚生委員会や観光文教水道委員会で、学童保育の部屋の狭さの問題、保育時間の延長、宅配弁当の必要性等を度々訴えてきました。

特に奈良県は全国一、県外就労率が高く、保育時間の延長が重要です。

平成26年9月定例会で仲川市長は、補正予算案に、学童保育の開所時間を午後7時まで延長する案を盛り込まれました。

酒井は喜んで保護者の皆さんに知らせ、皆さんも大喜びされました。

ところが議会内は、酒井と革新新政会以外の全会派が、反対か保留の態度を示しているとの報道もありました。

酒井は保護者の皆さんに状況を逐一報告。保護者の皆さんは緊急会議を開かれ、運動会等で来賓に来られた議員らを直接説得する行動に出られました。

9月29日、予算決算委員会で酒井は、バンビーホームへの様々な誤解を解こうという決意で登壇、発言。

異例に長い休憩の後、再び予算決算委員会が再開。補正予算案に対する修正案が中西委員外7名の委員より提出。補正予算案の中から数件の事業を削る案で、削られる予定だった数件の中から、バンビーホームの案だけが外されていました。

9月定例会最終日、バンビーホームの午後7時までの時間延長案は無事、原案通りに可決されたのでした。

## 2. イクメンハンドブックを作成

酒井は「父子手帳」作成を求め(平成23年4月27日厚生委員会)、パパのための子育てガイド「イクメンハンドブック」が完成しました。(平成26年3月6日定例会)



## 3. 3歳児保育を実現しました!

4歳からしか入れなかった幼稚園。認定こども園を増やして3歳児保育を実現しました!(平成21年9月11日定例会・平成22年9月9日定例会他)

## 4. 動物の殺処分を減らしました。

捕獲された犬、猫を、動物愛護団体へ委託譲渡し、新しい飼い主を探してもらうように要望し(平成25年11月19日厚生消防委員会等)、実現しました。

## 5. 里親制度への協力を実現!

児童養護施設の子どもは9割がそのまま施設で育ち、1割しか一般家庭に引き取られません。子どもは特定の大人に養育されることで、自信を持ち、人への信頼が築けます。

酒井は、奈良市主催で児童養護施設の子どもと、里親になることを考えている人たちを結びつける催しを求めました。(平成24年5月21日 厚生委員会)

これを受け、2015年9月、「奈良市に里親を広めよう」をテーマに、奈良市里親啓発シンポジウムが開催されました。

今後はNPOや市民ボランティアの皆様などと一緒に、学習会や様々な啓発事業が行われることになりました。

## 6. 児童虐待への予防に努めました

子どもの虐待死の原因で目立つのは、性暴力等での「望まぬ妊娠」です。酒井は、一人悩む女性への支援を求めました。(平成27年11月13日厚生消防委・平成28年11月7日厚生消防委等)(※注)

ご意見・メッセージをお願いします。

奈良市学園緑ヶ丘2-8-15  
酒井たかえとともに  
女性と政治を考える会 行

奈良市学園緑ヶ丘2-8-15

恐れ入りますが  
切手を  
お断りください

6310026

郵便はがき

✂ (キリトリ)

※注:子どもの権利条約第7条で「子供は出生後直ちに登録され、出生時から名前を持つ権利及び国籍を取得する権利を有し、かつ、できる限りその親を知る権利及び親によって養育される権利を有する」とされますが、スウェーデンでは、それ以前から、誰が自分の父親であるかを知ることが子供の精神的安定にとって重要であると考えられ、両親が法律婚をしていなくても父親を確定する制度が整えられています。

子供の人権の視点から、できるだけ早く父親を見つけ出して確定していくことが地方自治体の任務とされ、家族法事務所という公的機関が父親確定のための父親の探索、情報収集、DNA鑑定等の調査業務を遂行します。

これは、子供の養育責任は家族と社会がともに背負うものという社会的コンセンサスからだと思います。(ノルディック出版「スウェーデン・モデルは有効か」参照)

## 酒井が実現したこと (その2)

### 7. 特別職の退職金を一時、廃止

奈良市の特別職は一度、一般職として退職金を受け取っているのに、更に2度目、3度目の退職金を4年毎に受け取ってきました。副市長は1回で2千万円です。

2010年6月の定例会で仲川市長は、5つの特別職の退職金を廃止する条例案を提案。酒井と横井議員は賛成しました。

しかし市長案を修正する案が、浅川議員外4名から出され、他の全議員の賛成で可決。退職金を廃止するのは仲川市長のみとなりました。(平成22年6月18日)

その後、酒井は本会議や委員会で副市長等に対し、退職金を自主的に辞退するよう求めました。市長提出議案で徐々に特別職の退職金は廃止されていきました。平成26年9月定例会と、平成27年6月定例会で、今の市長の任期中は、副市長の退職金を廃止することが決定。特別職の退職金で唯一残っていた「副市長」について、やっと一時的にでも廃止することができました。

しかし今年3月議会の予算審査等特別委員会で、新たに更新される教育長の退職金を無くす案(議案48号)に賛成したのは酒井だけで、再び教育長の退職金が復活してしまいました。再び全特別職の退職金を廃止するため、酒井は戦います。

### 8. 学童保育での子どもの学力向上

子どもの貧困が問題となっており、塾へ行かせる時間もお金もない家庭も多いです。酒井は、子どもが一日の大半を過ごすバンビーホームで勉強させてほしいと質問(平成24年9月21日予算決算委員会観光文教水道分科会等)。「学習プログラムバンビーキッズ」が始まりました。

### 9. 中学校給食を実現しました!

貧困で1日の食事が学校給食だけという子供もいることから、必ずどの子も1日に1回は食事ができるよう、給食はすべての中学生も取れるようにと酒井は指摘。(平成23年2月3日総合計画検討特別委員会)中学校給食が実現しました。

✂ (キリトリ)

酒井たかえとともに女性と政治を考える会入会申込書

※入会金、年会費は不要です。

ふりがな	おでんわ ( )
お名前	
おところ	

奈良市の友人・知人を紹介します。

ふりがな	おでんわ ( )
お名前	
おところ	

ふりがな	おでんわ ( )
お名前	
おところ	

ふりがな	おでんわ ( )
お名前	
おところ	

皆様の個人情報、資料の送付または通信にのみ使用し、ご本人様の承諾なしに第三者への提供はいたしません。

### 10. イチゴ「古都華」を庶民のものに

奈良市は濃厚な味わいの魅力的なイチゴ「古都華」を、高価格で取引される販売戦略を考えていました。しかし、ブランドが高いために貧困家庭の子どもが食べられないのでは、イチゴの存在意味はありません。生産者を増やして値段を下げる努力を求め(平成26年3月6日定例会・平成27年3月5日定例会)、徐々に値段が下がってきました。



### 11. 学校校舎の耐震化を実現!

宝永地震(1707年)と同じ連動型の巨大地震が起きると予測されています。学校校舎は子どもの安全を守るだけでなく、避難所の機能も求められます。学校校舎の耐震化を奈良市の政策の一番にすべきと主張(平成25年2月5日観光文教水道委員会・平成27年6月18日定例会等)。平成27年度で学校施設及び体育館等の耐震補強工事をほぼ完了しました。

### 12. 学校給食の地産地消

酒井は学校給食の地産地消を求めました。(平成23年8月2日厚生委・平成25年5月9日観光文教水道委等)学校給食における地元産食材の利用割合は年々増加し、地元産食材を使用した郷土料理を献立に加えるなど工夫が進んでいます。

### 13. 子ども食堂の実現!

子どもの貧困対策として酒井が議会で提案した、子どもへの食事提供(平成24年5月21日厚生委員会他)が、一部の校区で実現しました。

✂ (キリトリ)

# あなたとともに創る奈良。3期目を目指し、さらに進化し続ける 酒井たかえの政策です！

## 1 待機児童の解消と出生率のさらなる向上

希望者が多いために保育園に入れず、待機児童となる問題に、酒井はずっと取り組んできました。(平成21年12月4日定例会等)  
また、定員割れをしている幼稚園の空き教室等を利用し、預かり保育ができるようにする等、様々な方策も進めてきました。(平成22年11月18日総合計画検討特別委員会等)  
その成果あり、待機児童が大幅に減りました。  
奈良市の合計特殊出生率も、酒井が議員になった2009年から、ずっと上がり続けています。(平成28年11月7日厚生消防委・平成29年1月31日厚生消防委等)これらの施策を更に進めます。

## 2 中心市街地に重点を置く街づくり

密度の高い市街地重点の街づくりを進め、過大な公共投資が発生しないよう、効率的な都市づくりに努めます。

## 3 街づくり達人養成塾を

街づくりの問題などで、地域自治会、地域市民団体、市役所とで普段の「街づくり達人養成塾」と、テーマ別に「街づくり協議会」を実施して、行政による押しつけにならないように、真に住民参加と話し合いが実現されるように求めます。

## 4 健康な街を作り、国保料の引き下げを

市民の健康を守る市の事業は今、月一回程度の大きな枠組みのものです。健康問題で困る市民は多く、普段の健康体操や習慣の改善策などの相談と普及で、元気な奈良の街づくりを目指し、健康診断の受診率を高め、国民健康保険の額を下げるよう努めます。

## 5 中学3年までの医療費を完全無料に

子どもの医療費を無料にする自治体が増えていますが、東京23区や兵庫県相生市は中学3年生まで無料。高校生まで無料にする例もあります。子育てしやすい街にすれば、働き盛りの若い家族が奈良市へ転居して来られます。  
まずは中学3年生までの医療費無料を目指します。

## 6 学校校舎にエアコンを!

学校校舎の耐震化が完了し、やっと温暖化対策に移れる状況になりました。年々暑くなる夏の教室で子どもが勉強に集中できるよう、冬でもガスストーブではなく暖房できるよう、酒井が何度も議会で取り上げてきた(平成22年9月9日定例会、平成23年3月11日定例会等)エアコン設置を目指します。

## 7 脱原発を推進します

2012年夏に電力不足だと大飯原発が再稼働を強行しました。でも直後に関西電力は、石油火力8機384万kwを停止。後に不足は嘘だと判明しました。  
また震災瓦礫も、現地処理だと地元にお金が落ちるのに、わざわざ遠方に運んで周囲に問題を起こしています。酒井は議会で震災がれきの受け入れをするなど発言しました。(2012年3月22日予算特別委員会)

これら一部の利益のために市民を犠牲にする危険な原発施策に反対し、天然ガスを主に、自然エネルギーを補助にして、脱原発を国に要求し推進します。

### 酒井たかえの横顔

**酒井孝江** 1962(昭和37)年9月24日、大阪府高槻市南総持寺団地に誕生。小学3年の春、現住居に転居。

奈良市立鶴舞西小学校に転校、翌年できた青和小学校に校区の同級生らと転校、1975年3月卒業。

奈良市立登美ヶ丘中学入学、翌年できた二名中学校に校区の同級生らと転校、1978年3月卒業。

樟蔭高等学校卒業。成安女子短期大学造形芸術科美術コース中退。1999年9月、近畿大学法学部法律学科(通信教育部)卒業。

父の法律事務所で事務員をしつつ、父が交通遺児や海外の子どもへの支援をしていたこともあり、様々な人権団体にボランティア活動。新聞への投書でよく採用される。

1996~98年、「女性を議会へ!バックアップスクール」受講。(写真)

1999年、奈良市議会議員選挙に初挑戦、60票差で次点/2003年、奈良市議選に再挑戦、59票差で落選/2005年、急な議会解散による奈良市議選に再挑戦、2票差で次点/2007年、奈良県議会議員選挙に初挑戦、5,358票を得て善戦/2009年、奈良市議選に再挑戦、3,203票を得、初当選。定数39、候補者48名中、26位/2013年、奈良市議選で3,621票を得、2期目の当選。定数 39、候補者49名中、13位。

2008年3月、(財)関西カウンセリングセンター心理臨床カウンセラー資格認定。

2009年12月、(財)関西カウンセリングセンター上級心理臨床カウンセラー認定。

市民団体「奈良市を見まもる会」代表  
NPO法人「しんぐるまざあず・ふぉーらむ関西」登録「ひとり親家庭相談員」

NPO法人「青少年の自立を支える奈良の会」正会員  
「奈良・市民放射能測定所」会員  
好きなもの:スピッツの歌、萩尾望都作品  
家族:夫(公務員)、娘(小学6年生)

## 8 格差をなくし、平和と福祉の再構築を目指します

戦争放棄を誓う平和憲法を、変えようとする動きが現実的になってきました。明治生まれの刑法や民法と比べても、昭和生まれの憲法が古いと言うのは虚言です。9条の「戦争放棄」は、当時の幣原喜重郎首相が占領軍に提案し、冒頭の「平和主義」の条項は、国会の衆議院小委員会で国会議員たちが熱い議論の末に書き加え、両案とも入れられて作られたことが判明しました。(「憲法70年“平和国家”はこうして生まれた」4月30日NHKスペシャル)「押しつけ憲法」論は間違いだったのです。

簡単に戦争を語り、平和と命の大切さに切実感がない。今ほど憲法9条が大切な時はないと思います。

「ただ座っていて平和は守れない」これは戦争を進める人だけの言葉ではありません。市民の基礎である自治体として平和を守り、近隣諸国ともどう付き合いか探っていききたい。

領土問題は棚上げし、長い交渉に入る必要があると思います。その平和の基礎として人々の格差をなくしたい。今できることとして、これらのことを目指します。

- 軽率な言動で周辺国と敵対しないよう社会に発信するため「平和無防備都市条例」を奈良市で実現すること。
- 奈良市議会で「憲法9条を変えるな」と国に対して決議を上げること。
- 「格差をなくす奈良市対策要綱」策定を進めること。

### 奈良市議会議員 有志18名で「安保法案」に反対しました

2015年7月14日、安保法制に反対する奈良市議会議員有志18名で、「国際平和支援法」「平和安全法制整備法案」を廃案にすることを求めるアピールを発表。思想信条の違いを超え、「安保法案に反対」の意思1つで有志が協力しました。

#### 有志アピールに賛同した奈良市議18名(議席順)

松下幸治、柿本元気、酒井孝江、階戸幸一、山本直子、白川健太郎、内藤智司、山口誠、松村和夫、小川正一、北村拓哉、三浦次夫、上原篤、松石聖一、井上昌弘、松岡克彦、山口裕司、中西吉日出



近鉄学園前駅北口で街頭演説(2015年8月17日・写真右端が酒井)

### 酒井が実現したこと(その3)

#### 14. 別れた親子の面会交流と、養育費の支払い促進を進めました。

##### 全国で2番目!

酒井は、「別れた親子の面会交流と養育費の相談支援」を求め、「実施に向けて検討」するとの回答を引き出しました。平成25年11月19日厚生消防委。これは酒井が「東京都ひとり親家庭支援センター」はあと(※写真左)を視察し(平成25年10月22日、持ち帰った資料が役立ちました。

##### 県全体の施策に発展!

この相談は市内在住の方に限られていました。市に次いで2番目の素早い対応となりました。自治体が相談を受けるのは、全国でも兵庫県、素早い対応となりました。面会交流については、基礎自治体が相談を受けるのは、全国でも兵庫県、素早い対応となりました。

弁護士でもある泉市長は、弁護士活動で離婚事件を扱うたびに、夫婦の主張が抜け落ちていく、と感じていたので、と感して、明石市では「親の離婚と子どもの気持ち」をテーマとした冊子等を、全員に配られます。

酒井はこの資料を奈良市に持ち帰り、担当者に紹介し、厚生消防委員会での作成を求めました。

平成27年12月、養育費と面会交流の「合意書・養育費プラン」作成の手引き(※写真左)が遂に完成しました。



平成27年5月、奈良市は養育費や面会交流等にまつ「養育費等相談」事業(※写真左)を始めました。

酒井は平成26年11月、日別居親の方々の集まり、酒井が呼ばれる市長の部屋で、参加しました。(※写真左)

